

人間科学部心理学科 カリキュラムマップ

	DP	A-2 人間一般の心の機能について説明することができる。	A-3 人間の生涯にわたる成長や発達について説明することができる。	A-4 日常場面や産業場面において、他者との関わりや状況の影響を受ける人間行動について説明することができる。	A-5 心身の健康・ストレス、および心理的援助に関する基本について説明することができる。	A-6 心理学の基礎的な手法である研究技法や測定技法、分析技法の知識を習得し説明することができる。	A-7 実践場面や心理学的支援において必要となる、隣接する関連分野の知識を習得し説明することができる。	B-2 心理学的な視点から、グローバルな事象について考察することができる。
	CP	A-2 「基礎専門に関する科目」や「応用専攻科目(認知領域)」等を中心に、認知心理学に関連する基礎から応用に至るまでの知識を修得するための科目を1年次より系統的・段階的に配置する。	A-3 「基礎専門に関する科目」や「応用専攻科目(教育・発達領域)」等を中心に、教育心理学及び発達心理学に関連する基礎から応用に至るまでの知識を修得するための科目を1年次から系統的・段階的に配置する。	A-4 「基礎専門に関する科目」や「応用専攻科目(社会・産業領域)」等を中心に、社会心理学に関連する基礎から応用に至るまでの知識を修得するための科目を1年次から系統的・段階的に配置する。	A-5 「基礎専門に関する科目」や「応用専攻科目(臨床領域)」等を中心に、臨床心理学に関連する基礎から応用に至るまでの知識を修得するための科目を1年次から系統的・段階的に配置する。	A-6 「研究法に関する科目」や「実験・実習に関する科目」等を中心に、心理学における基礎的な手法に関する知識と技能を身に付けるための科目を1年次及び2年次を中心に配置する。	A-7 「応用専攻科目(臨床領域)」等を中心に、実践場面や臨床場面で必要となる基本的知識や技能を身に付けるための科目を1年次から配置する。	B-2 「応用専攻科目(文化・環境領域)」等を中心に、文化や環境と人間の行動やこころの影響過程について理解し、心理学的な視点から考察する能力を身に付けるための科目を1年次から系統的・段階的に配置する。
PSY-bas1-100	基礎演習							
PSY-bas3-301	演習Ⅰ(A)							
PSY-bas3-302	演習Ⅰ(B)							
PSY-bas4-401	演習Ⅱ(A)							
PSY-bas4-402	演習Ⅱ(B)							
PSY-bas4-403	卒業研究 A							
PSY-bas4-404	卒業研究 B							
PSY-bas3-303	プレゼンテーション法							
PSY-bas1-101	心理学研究法					70		
PSY-bas1-201	心理学研究法各論Ⅰ					60		
PSY-bas2-202	心理学研究法各論Ⅱ					60		
PSY-bas2-203	心理学研究法各論Ⅲ					60		
PSY-bas3-304	消費者行動研究法					60		
PSY-bas1-102	心理学統計法Ⅰ					40		
PSY-bas1-204	心理学統計法Ⅱ					30		
PSY-bas3-305	心理学統計法Ⅲ					30		
PSY-bas2-205	心理学文献講読					30		
PSY-bas2-206	心理学英語文献講読					80		10
PSY-bas2-207	研究情報収集法					60		
PSY-bas2-208	心理学実験Ⅰ					10		
PSY-bas2-306	心理学実験Ⅱ							
PSY-bas3-307	心理演習(検査)					60		
PSY-bas3-308	心理演習(面接)							
PSY-bas3-309	心理学調査実習							
PSY-bas3-310	消費者行動分析実習							
PSY-bas4-405	心理実習							
PSY-bas1-103	心理学概論Ⅰ	80						
PSY-bas1-104	心理学概論Ⅱ		40	30	30			
PSY-bas2-209	知覚・認知心理学Ⅰ	80						
PSY-bas2-210	教授・学習心理学	30	40	30				
PSY-bas1-211	社会・集団・家族心理学Ⅰ			100				
PSY-bas1-212	発達心理学Ⅰ		80					
PSY-bas1-213	文化心理学	20		20				60
PSY-bas2-214	臨床心理学概論		10		80			
PSY-pra3-311	神経・生理心理学	70					20	
PSY-pra2-312	知覚・認知心理学Ⅱ	70					10	
PSY-pra3-313	実験心理学	70						20
PSY-pra3-314	学習・言語心理学	70					10	
PSY-pra3-315	感情・人格心理学	40			50			
PSY-pra2-316	発達心理学Ⅱ		70	20				10
PSY-pra3-317	老年心理学		70		10			
PSY-pra3-318	社会・集団・家族心理学Ⅲ		60		20			
PSY-pra3-319	教育・学校心理学		60		20			
PSY-pra3-320	キャリア発達心理学		70					
PSY-pra2-321	社会・集団・家族心理学Ⅱ			80				
PSY-pra3-322	コミュニケーション心理学			30				
PSY-pra3-323	対人関係心理学			80				10
PSY-pra3-324	産業・組織心理学Ⅰ			60				
PSY-pra2-325	消費者行動心理学	25		50				
PSY-pra2-326	マーケティング			50			25	
PSY-pra2-327	心理学的支援法				55			
PSY-pra2-328	臨床カウンセリング心理学				40			
PSY-pra3-329	産業・組織心理学Ⅱ			20	60			
PSY-pra3-330	障害者・障害児心理学				70			
PSY-pra3-331	司法・犯罪心理学				80			
PSY-pra2-332	心理的アセスメント				45			
PSY-pra3-333	健康・医療心理学		10		80			
PSY-pra3-334	精神疾患とその治療				60			
PSY-pra3-335	福祉心理学			30	20			
PSY-pra3-336	日本人の心理							70
PSY-pra3-337	環境心理学						20	50
PSY-pra2-338	スポーツ心理学			30	40			
PSY-pra1-105	人体の構造と機能及び疾病						80	
PSY-pra2-215	公認心理師の職責						70	
PSY-pra2-216	関係行政論						70	
	最高値	80	80	100	80	80	80	70
	合計	555	500	640	760	650	305	230
	比重(%)	8.5	7.7	9.8	11.7	10.0	4.7	3.5

B-3 コミュニケーション能力およびカウンセリングマインドを身に付け、対人関係の支援や円滑な人間関係の構築・維持に活用することができる。	B-4 身の回りの事象の中から心理学的な課題を発見し、課題解決に適切な研究計画を立案し研究を実施することができる。	B-5 心理データを適切な統計手法により分析し、その結果を読み解いてわかりやすく人に伝わるよう表現できる。	C-2 日常生活や身近な事象から発見した課題を、心理学的方法に基づいて科学的に検証し解決することができる。	C-3 修得したコミュニケーション能力を、さまざまな実践場面で活用することができる。	D-2 人間についての多面的理解を、自身や身の回りの人の心身の健康や幸福な人生のために役立てることができる。	D-3 的確な情報収集と分析に基づいた客観的な観点から自他の置かれた状況や社会的な現象を捉えようとすることができる。	D-4 心理学的支援に求められる基本的な知識と技術(傾聴、アセスメント)を身につけ、心の援助を必要とする人や社会に対して適切な支援をすることができる。	合計 (100%)
B-3 「応用専攻科目(臨床領域)」及び「実験・実習に関する科目」等を中心に、対人場面や心理学的支援において有効なコミュニケーション能力や心理学的技法を身に付けるための科目を2年次及び3年次を中心に配置する。	B-4 「研究法に関する科目」や「実験・実習に関する科目」等を中心に、人間行動について科学的・客観的に思考し検証する上で必要な実践的知識と技能を身に付けるための科目を2年次及び3年次を中心に配置する。	B-5 「研究法に関する科目」や「実験・実習に関する科目」等を中心に、統計的な分析とプレゼンテーションに関わる実践的知識と技能を身に付けるための科目を1年次から系統的・段階的に配置する。	C-2 「演習・卒業論文に関する科目」や「実験・実習に関する科目」等を中心に、身に付けた専門性を活かして実践的・模擬的な課題解決を体験し実践力を身に付けるための科目を3年次及び4年次を中心に配置する。	C-3 「演習・卒業論文に関する科目」や「実験・実習に関する科目」等を中心に、身に付けた専門性を活かして実践的・模擬的な対人場面や支援場面を体験し実践力を身に付けるための科目を3年次及び4年次を中心に配置する。	D-2 「応用専攻科目」等を中心に、5領域にわたる幅広い領域の心理学を理解するための講義科目を1年次から系統的・段階的に配置する。	D-3 「実験・実習に関する科目」等を中心に、課題解決型の実習科目を2年次から4年次にわたって配置する。	D-4 「心理演習」や「心理実習」等、心理学的支援に貢献できる実践力を身に付けるための臨床実践科目を3年次から4年次にわたって配置する。	
70						30		100
			40	60				100
			45	55				100
			60	40				100
			70	30				100
			60	20		20		100
			60	20		20		100
		40		50		10		100
		15				15		100
	20					20		100
	20					20		100
20						20		100
		20	20					100
		50				10		100
		60				10		100
		60				10		100
	50	20						100
	10							100
	40							100
	50	40						100
	50	20				30		100
				20			20	100
50				20			30	100
	40	10				50		100
	30		50	20				100
				20		20	60	100
					20			100
					10	10		100
								100
								100
					20			100
					10			100
					10			100
					20			100
					10			100
					20			100
					10			100
					20			100
					20			100
					20			100
			10					100
					20			100
					10	10		100
60				10				100
					10			100
					20	20		100
					25			100
					25			100
45								100
60								100
					20			100
					30			100
					20			100
50					5			100
					10			100
					40			100
					50			100
				20		10		100
						30		100
					30			100
					20			100
					20			100
					20			100
70	50	60	70	60	50	50	60	100
355	310	335	415	385	565	365	130	6500
5.5	4.8	5.2	6.4	5.9	8.7	5.6	2.0	